

- ◆ OTC類似薬について、OTC医薬品との負担のバランスの観点から保険給付のあり方を見直す
- ◆ 能力に応じた負担を徹底する
- ◆ 医療DXを通じた効率的で質の高い医療の実現

などの項目を含めた社会保障改革を進めていくことにより、国民負担を軽減するということは大事な課題でございます。

2025年2月17日 衆議院予算委員会 石破茂総理答弁

立憲民主党 令和7年度当初予算に対する修正案フレーム

パネルの写し

政策実現	財源確保
<p>1. 国民の負担を減らす</p> <p>[税負担を減らす]</p> <p>○ガソリン・軽油価格の引き下げ 1兆4999億円</p> <p>[教育費の負担を減らす]</p> <p>○学校給食無償化 4900億円</p> <p>○高校無償化の拡充 3709億円</p>	<p>「本気の歳出改革」の成果</p> <p>○突然増えた「一般予備費」の減額 5000億円</p> <p>○「ムダな見せ金」基金の活用</p> <p>防衛装備移転円滑化基金財源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度の繰入取り止め 400億円 ・ 基金残高の一部返納 400億円 <p>コロナワクチン生産体制等緊急整備基金の一部返納 1000億円</p> <p>グローバル・スタートアップ・キャンパス基金取り崩し 636億円</p> <p>○基礎年金給付費の一部活用 4582億円</p> <p>○「3年ルール」を逸脱した「積み過ぎ」基金の一部活用 1兆7878億円 (試算)</p> <p>○地方創生交付金の一部活用 1000億円</p> <p>○補正予算の水ぶくれの原因となった基金積み増しの適正化</p> <p>宇宙戦略基金の一部返納 2039億円</p> <p>経営安定関連保証等特別基金など経産省所管基金の一部返納 5000億円</p>
<p>2. 国民の収入を増やす</p> <p>[介護、障害福祉、幼稚園・保育園の従事者の収入アップ]</p> <p>○介護・障害福祉施設で働く人の処遇改善 4225億円</p> <p>○訪問介護事業者に対する緊急支援 357億円</p> <p>○保育士・幼稚園教員の処遇改善 1488億円</p> <p>[働く人等を支援する]</p> <p>○「130万円のガケ」対策 7800億円</p> <p>○中小企業の社会保険料負担軽減 257億円</p> <p>○高額療養費の自己負担上限引き上げの凍結 200億円</p>	
3兆7935億円	3兆7935億円

3 基金の支出額と残高の推移

パネルの写し

① グローバル・スタートアップ・キャンパス基金

	2023年度	2024年度 (見込み)	2025年度 (見込み)
支出額	2,466万円	1.3億円	59億円
年度末残高	636億円	635億円	576億円

② 宇宙戦略基金

	2023年度	2024年度 (見込み)	2025年度 (見込み)
支出額	174万円	301億円	633億円
年度末残高	3,000億円	5,701億円	5,070億円

③ 防衛装備移転円滑化基金

	2023年度	2024年度 (見込み)	2025年度 (見込み)
支出額	229万円	1.4億円	3,683万円
年度末残高	400億円	799億円	1,198億円

各基金シートをもとに、適宜金額を四捨五入して記載している。

また、先端国際共同研究推進基金の2024年度見込み額は2025年2月20日予算委員会での政府参考人答弁に基づくもので、2025年度の年度末残高見込み額もそれにより計算し直している。

防衛装備移転円滑化基金の2024年度支出額見込み額には、2024年11月に支出されたインドへの「ユニコーン」移転の費用を含んでおり、2024・2025各年度年度末残高見込み額もそれ差し引いて計算し直している。

防衛力整備計画策定時の想定

	予算編成時 為替レート (米ドル)	予算額	<u>108円/米ドル</u> の場合との差額
2024年度	139円	1兆5,572億円	+ 3,120 ～3,470億円
2025年度	150円	1兆5,736億円	+ 3,960 ～4,410億円